



高西小だより

H25, 11, 13(水) 校長:古屋 NO11

学校教育目標
夢を切り拓く
心豊かで
たくましい子ども

むらやま祭のご参観、ありがとうございました！

「ふれあい・発見・楽しむ会」は、丁度、節目の10年！

2日、絶好の秋空の下で、恒例の「むらやま祭」と「ふれあい・発見・楽しむ会」が大勢の保護者、ご家族、地域の方々のご参加により盛大に行われました。ご参加ありがとうございました。

歴史を辿ると、この行事のきっかけは、26年前の昭和62年の文部省（文科省）指定勤労生産学習公開研究発表会が行われたことにあります。本校では、これを契機に、毎年高根西小の特色としての収穫祭（名称：むらやままつり）が行われるようになりました。そして、21年前の平成4年度には、初めて学習発表会としての「むらやま祭」（むらやまさい）の名称が使われ、午後には親子ふれあい焼きいも集会やPTA主催のバザー開催といった1日行事となりました。その後、平成7年度からは、半日開催の「むらやま祭」だけが続きましたが、10年前の平成16年度（早川憲三校長先生）からは、現在の形式となり、PTAの運営による「ふれあい・発見・楽しむ会」がスタートしました。この時も、現在とほぼ同じの12ブース、講師約40名でした。

本校の特色としての収穫祭は、現在、全校でさつまいもを育て、焼きいもにして食べるといった行事が残されていますが、栽培活動の多くは、各学年の教科、生活科、総合の時間内に地域や児童の実態に応じて行われるようになりました。6年生のじゃがいも栽培（理科）、5年生の米作り（総合）、4年生の大豆や味噌作り（総合）、1年生から3年生（生活科・総合）の野菜作りがそれに当たります。

北杜市が推進する「原っぱ教育」のキーワードは、「ひと・もの・こと」です。これは、地域の優れた素晴らしい人材や素材、後世に残すべき歴史や伝統文化、技術などを意味します。学習発表会としての「むらやま祭」と地域の様々な良さを生かし、親子のふれあいを深める「ふれあい・発見・楽しむ会」は、まさに「ひと・もの・こと」を取り入れた「原っぱ教育」の推進となっています。



1年生「くじらぐも」



2年生「スイミーと21人のなかまたち」



3年生「できるようになったこと」



4年生「六ヶ村せぎ探検隊」



5年生「お米ワールドへようこそ」



6年生「武田信玄の秘密に迫る」



ペーゴマ(講師:清水敏行様)



押し花(講師:保坂多枝子様)



ハウムクーヘン(講師:斉藤京子様)



小物入れ(講師:藤木豊和様)



軽スポーツ(講師:渡辺洋子様 他)



アロマテラピー(講師:笠井嘉子様)



ゼリー水中花(講師:小林照美様)



フルーツクレープ(講師:浅川敬子様 他)



ほうとう(講師:清水好美様 他)



竹トンボ(講師:清水善博様)



サンドブラスト(講師:藤巻晶子様)



ねこ玉(講師:藤居裕子様)

たくさんのご感想をありがとうございました!

- 各学年の発表は、今まで学習してきたことを、自分たちで工夫して、分かりやすく、ユーモアをとり混ぜて、子どもたち本人も楽しんで発表しているなあと微笑ましく見せて頂きました。周りの展示も、秋の芸術展らしく、とても良かったです。
- 一生懸命に練習してきた子どもたち一人一人の努力が実を結び、どのクラスの発表もとても良かったです。見ている人に楽しんでもらえるよう工夫された発表が多く、子どもたちの熱意が感じられました。先生方も参加された全校合唱もとても良かったです。最後まで楽しく見ることができました。
- 毎年とても楽しみに観に行っています。各学年趣向を凝らし、とても良くまとめてあるなあと感心しました。伝えたい事もとてもはっきり良く分かりました。どんなふうに進めていくのか、場面場面をどうするかなど、協力して練習した成果が良く発表できていたと思います。
- 一緒に物を作る機会は少ないので良い体験でした。子どもの自立していく姿を見て、成長を深く感じることができました。
- どのブースも、講師の方々が大人も子どもも楽しめるように毎年考えて下さるので、充実した時間を過ごすことができました。